

スマートフォン用アプリケーション 【レイミーの AI 病虫害雑草診断】 操作説明書

第 2 版

作 成	日本農薬株式会社 スマート農業推進部
作 成 日	2024 年 6 月 3 日
最終更新日	2025 年 8 月 6 日



目次

1 本アプリに関して.....	4
利用シーン	4
トップ画面と機能.....	4
対応作物	5
ダウンロード	5
アプリ使用上の注意事項	5
診断 AI とアプリの作成に関して	5
2 初期設定	6
本アプリのカメラと写真ギャラリーへのアクセスを許可する	6
本アプリとカメラアプリの位置情報をオンにする	8
ユーザー登録	9
ユーザー登録の方法.....	10
ログインの方法.....	11
3 診断と農薬紹介	12
AI 診断	12
診断結果を確認してみよう！① 複数候補の確認.....	13
診断結果を確認してみよう！② 生態情報の確認.....	13
診断結果を確認してみよう！③ 気になった診断結果はお気に入り.....	14
カルテ式診断	15
上手な診断の方法.....	16
「これだと思う」ボタンの活用	18
農薬紹介	18
4 診断履歴	19
一覧表示とマップ表示.....	20
“絞り込み”の活用	21
5 記録機能	23
記録.....	23
サブタグ、「記録内容に自信なし」ボタン、メモの活用.....	23
6 記録履歴	24
一覧表示とマップ表示.....	24

7 AI 予察.....	24
初期設定.....	25
予察情報.....	27
気象情報.....	27
ユーザーアンケートに答えよう.....	28
6 図鑑.....	28
農薬を探す.....	29
病虫害雑草を探す.....	30
7 圃場管理.....	31
圃場を登録.....	32
登録圃場を見る.....	33
圃場別の「診断履歴」.....	33
圃場別の「データ管理」.....	34
8 天気予報.....	35
9 お知らせ.....	35
10 Z-GIS との連携.....	36
連携の概要.....	36
連携の方法.....	36
本連携のお申込み.....	37

1 本アプリに関して

「レイミーの AI 病虫害雑草診断」(以下、「本アプリ」)は日本農薬株式会社と株式会社 NTT データ CCS が農作業における病虫害雑草防除の支援を目的に 2020 年 4 月にリリースしたスマートフォン専用のアプリケーションです。iOS と Android の両方に対応しており、完全無料でご使用いただけます。

本アプリの運営には日産化学株式会社、日本曹達株式会社、三井化学クロップ & ライフソリューション株式会社、株式会社エス・ディー・エス バイオテック、丸和バイオケミカル株式会社にご協力をいただいております。

利用シーン

病虫害や雑草の防除に役立つ機能を有しており、農業における様々な場面で活用することができます。

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. 圃場に発生している病虫害雑草の特定とそれを防除する薬剤の確認 | : AI 診断、農薬紹介 |
| 2. 過去の診断結果を記録して今後の防除計画の立案に活用 | : 診断履歴 |
| 3. 農業に関する様々な情報を記録して管理に活用 | : 記録機能 |
| 4. 過去の記録を参照して今後の防除計画の立案に活用 | : 記録履歴 |
| 5. これからの病虫害管理に役立つ情報の確認 | : AI 予察(予察タブ) |
| 6. 農薬散布の適否や気象情報を解析したリスク情報の確認 | : AI 予察(気象タブ) |
| 7. 病虫害雑草や農薬の確認や勉強 | : 図鑑機能 |
| 8. 簡易的な圃場管理と圃場に紐づく病虫害雑草の把握 | : 圃場管理 |

トップ画面と機能

トップ画面から全ての機能にアクセスできる仕様になっています。



対応作物

2025 年 7 月現在は 29 作物の診断に対応しています。なお対応作物は順次拡大を予定しています。

水稲	ブロッコリー	チンゲンサイ	いちご	かぶ	もも
大豆	カリフラワー	えだまめ	メロン	ばれいしょ	キウイフルーツ
キャベツ	ねぎ	トマト	すいか	りんご	芝
レタス	こまつな	なす	かぼちゃ	かんきつ	その他野菜
たまねぎ	はくさい	きゅうり	だいこん	ぶどう	

ダウンロード

次のリンク先 (QR コード) にダウンロード用のサイトがあります。もしくはストアでアプリ名か「日本農薬」で検索してください。完全無料で iOS と Android に対応しています。(ただし通信料はご利用者様のご負担になります)

[レイミーの AI 病虫害雑草診断](#)



アプリ使用上の注意事項

- 似ている病虫害雑草間で誤診断する場合があります。
- 本アプリはあくまで防除の支援のためのツールであり、最終的な判断と農薬使用に関する責任はご利用者様となります。
- 電波状況によって診断に適さない場合がありますので、撮影後に電波良好な環境で診断してください。
- その他アプリに関する利用規約やプライバシーポリシーに関してはアプリ内のマイページの各種コンテンツをご確認ください。

診断 AI とアプリの作成に関して

- 本アプリケーションで使用されている AI 診断学習モデルは株式会社 NTT データ CCS と日本農薬株式会社の共同開発です。
- 本システムは農林水産省の農業界と経済界の連携による生産性向上モデル農業確立実証事業「防除支援システム研究会 (H30～R1)」の成果を社会実装したものです。
- 学習に用いたデータの一部は、農林水産省委託事業「人工知能未来農業創造プロジェクト・AIを活用した病虫害診断技術の開発」および、「官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)」の成果である「病虫害被害画像データベース」(<https://www.naro.affrc.go.jp/org/niaes/damage/>)を用いました。
- 学習のために使用した病虫害雑草の画像の収集に関しては全国の様々な試験・研究機関や農業関係者のご協力をいただきました。

2 初期設定

次の設定をしておくことで本アプリの診断機能を最大限に活用できます。なお設定方法は OS のバージョンによって手順が異なる場合がありますのでご注意ください。

本アプリのカメラと写真ギャラリーへのアクセスを許可する

本アプリで診断をする際には必須の設定です。

AI 診断をする際にスマートフォンのカメラを起動するか、すでに撮影済の写真(ギャラリー)で診断するかを選べます。それぞれのアクセスを許可しておくことで診断機能を使用することができます。

許可されていない状態で本アプリを使用すると、下記のような確認ウインドウが表示されます。診断機能を使用するにはアクセスを許可してください。



設定を確認したり設定を変更したりする際には、次の操作になります。iOS と Android に分けて手順を示します。

iOS 端末（カメラと写真ギャラリーへのアクセスを許可）



次の設定になっているかを確認
 ■位置情報：“使用中のみ”が“常に”
 ■写真：“フルアクセス”
 ■カメラ：オン
 上記ではない場合は変更する

設定の“AI診断”をタップ

Android 端末（カメラと写真ギャラリーへのアクセスを許可）



本アプリとカメラアプリの位置情報をオンにする

位置情報をオンにすることで、病虫害雑草の撮影場所と診断・記録場所が自動的にアプリに記録されます。それにより、どこで病虫害雑草の発生や被害があったのかの振り返りがより詳細にできるようになります。

iOS 端末（本アプリとカメラアプリの位置情報をオン）



設定の“プライバシーとセキュリティ”をタップ



“位置情報サービス”をタップ



“位置情報サービス”がオンになっていることを確認
AI診断とカメラアプリをタップして
両方のステータスを確認する



AI診断とカメラアプリの設定を両方とも“このアプリの使用中”もしくは“常に”に変更する
性格な位置情報をオンにする

Android 端末 （本アプリとカメラアプリの位置情報をオン）



ユーザー登録

本アプリはニックネームとメールアドレスとパスワードの設定によりアカウントを作成しユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をすると次のメリットがあります。

- スマートフォンの機種変更時に診断履歴などの情報を引き継ぐことができる。
- 1つのアカウントで複数の端末にログインすることで端末間での情報共有ができる。
 - ✓ 例①: スマホとタブレットに1つのアカウントでログインして、診断履歴などの情報を両方の端末で確認する。
 - ✓ 例②: 知り合いと1つのアカウントを両方で使用することで診断情報を共有する。(この場合パスワードの管理にお気をつけください)
- Z-GIS などの別システムとの連携ができる

今後、登録ユーザー専用の機能や連携が増える予定です。またユーザー登録は無料、個人情報の取得はしていないのでご安心ください。

ユーザー登録の方法

マイページからユーザー登録をすることができます。



トップ右下のマイページをタップ



“ユーザー登録またはログインする”をタップ



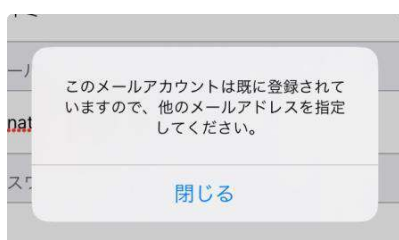
“ユーザー登録”のタグを選択し、ユーザー名（本名でなくてもOK）、メールアドレス、パスワードを入力する。利用規約を読んだ上で問題ないようでしたら同意するにチェックをして“登録”をタップ



ユーザー登録時に設定したメールアドレスに登録確認のメールが配信されます。本文にある「メール登録を確認する」というリンクをタップすることでユーザー登録が完了いたします。
なおこの登録確認のメールは迷惑メールフォルダに分類されることがあるので注意してください。

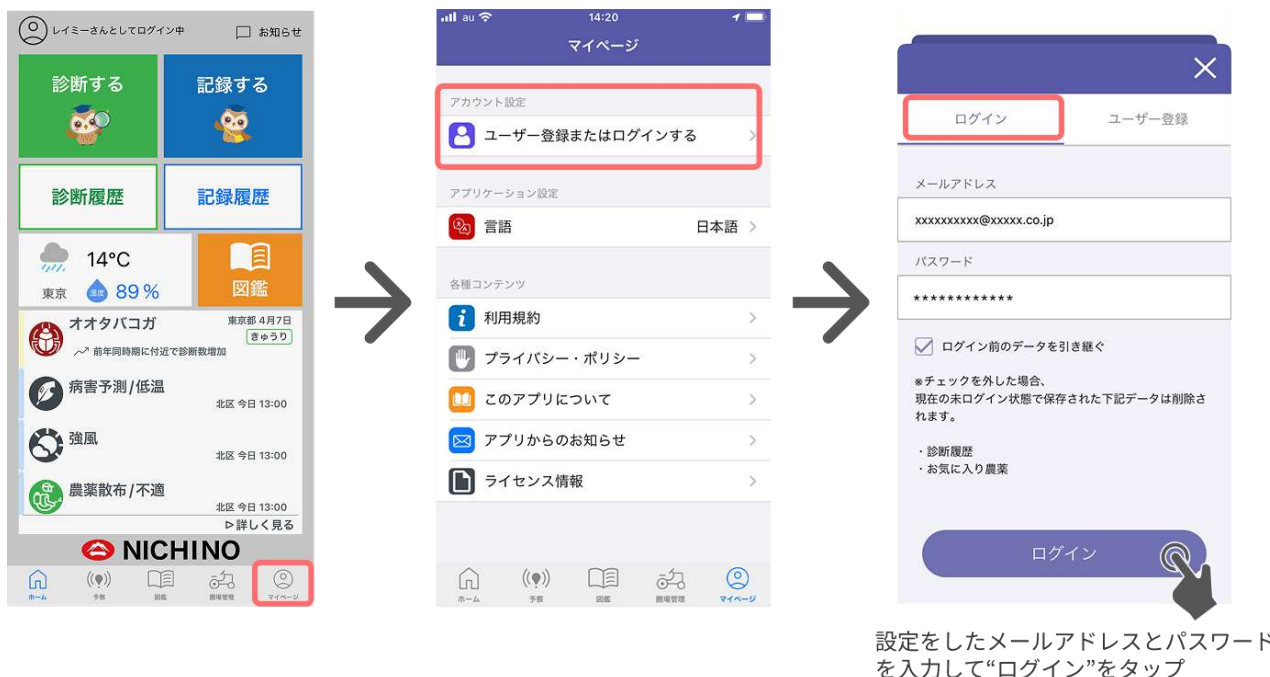
「既に登録されている」と表示されてユーザー登録ができない場合

本アプリは 1 つのメールアドレスに対して 1 つのユーザー登録しかできません。過去にすでに登録をしている場合は次項の「ログイン」をしてください。なおパスワードが分からなくなった際は、次のページの「ログイン時のパスワードを忘れた場合」の手順を試してください。



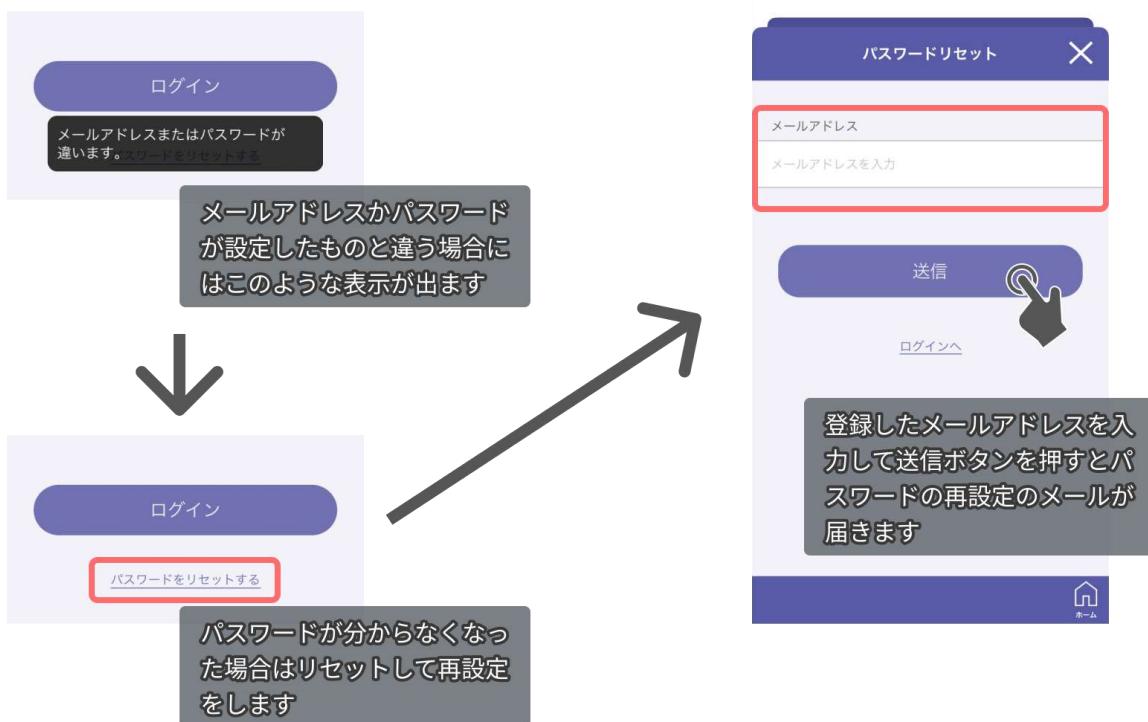
ログインの方法

ユーザー登録が完了するとメールアドレスとパスワードを入力することで本アプリにログインできます。



ログイン時のパスワードを忘れた場合

メールアドレスかパスワードのどちらかもしくは両方が違う場合はログインできません。その場合はパスワードをリセットして再設定をしてください。（“ログイン”ボタンの下のリンクからパスワードリセットのページに移動できます）メールアドレスが間違っている可能性がある場合は、ユーザー登録からやり直してください。



3 診断と農薬紹介

圃場に発生している病害虫雑草を特定して、その防除に使える農薬を紹介するフローになります。診断方法は「AI 診断」と「カルテ式診断」の 2 つの診断方法があり、その方法を組み合わせることでより正解に近づくことができます。農薬紹介機能では、各農薬メーカーの薬剤のサイトの確認ができるようになっており、詳しい情報を知ることができます。

AI 診断

キャベツの病害を AI 診断する場合を例とした操作フローです。トップの“診断”ボタンをタップし、作物、診断対象、診断する画像、画像の調整、診断方法を順番に操作してください。そうすると AI が自動で診断をします。



画像 5 枚まで同時診断ができます

同じ作物で同じ診断対象(病害・食害、害虫、雑草)であれば 5 枚同時に診断することができます。ギャラリーから画像選択時に複数を選択して、次の画面でそれぞれの画像調整をしてください。なお画像選択後に選択間違いが分かった場合は、画像を長押しすることで解除することができます。

診断結果を確認してみよう！① 複数候補の確認

AI は最大で 5 つの候補を提示します。AI は間違えることもあります。その場合でも複数の候補を確認することで正しい答えに辿り着きやすくなります。なお数値(%)は AI の自信度で、数値が大きいほど AI が自信を持った回答になります。この数値も結果を検討する際の参考にしてください。

AI は最大で 5 つの診断候補を提示します。なお数値(%)は AI の“自信度”です。数値が大きいほど AI が自信を持った回答になります。

Point!

複数の候補を確認して、これで間違いのないという候補が見つかったら、「これだと思う」ボタンをタップしてください。そうしないと診断履歴ではトップの自信度の候補で記録されてしまいます。

これだと思う

他の診断候補を確認したい場合は「カルテ式診断」を試してみよう

診断結果の画面に「カルテ式で診断する」というボタンがあります。AI 診断の結果に満足できない場合は、別の診断方法である「カルテ式診断」に切り替えることができます。詳細は 15 ページの「カルテ式診断」をご確認ください。

カルテ式で診断する

診断結果を確認してみよう！② 生態情報の確認

診断結果には図鑑が含まれています。図鑑画像や生態情報を確認して、自身の圃場に発生しているものがこの診断結果で間違いがないかを確認してみてください。

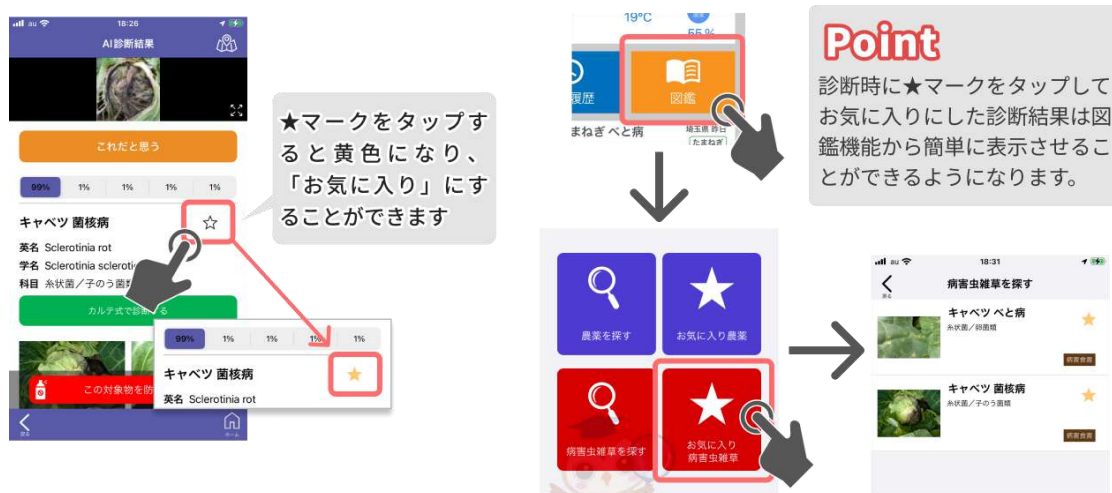
AI が診断した病虫害雑草の名称、英名や学名や科目をチェックスクロールして他の情報も見ましょう！

発生消長、生態情報、防除のポイントをチェック。診断結果が正しいか圃場の状況と合わせて確認してみましょう！

図鑑画像をチェック。写真をタップすると拡大表示されます。

診断結果を確認してみよう！③ 気になった診断結果はお気に入り

お気に入りにする事で「図鑑機能」(27 ページ)で簡単にいつでも確認することができます。



診断時のポイント「診断設定の確認」「データ容量の節約」「撮影地点の確認」

診断時に役立つちょっとしたポイントです。



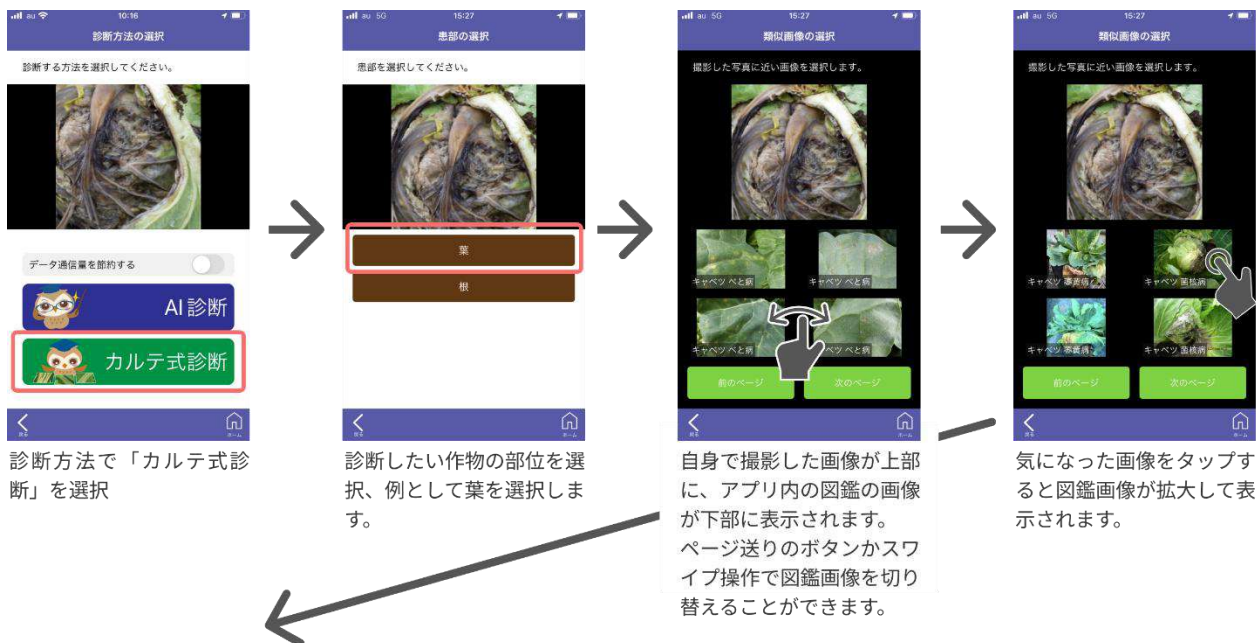
2 回目以降の診断では作物等が選択された状態から始まります

診断時の設定が自動で記録される仕様になっているので、2 回目以降に同じ内容で診断するのであればステップを省略することができます。違う作物や対象を診断する際には診断設定をやり直してください。



カルテ式診断

カルテ式診断とはアプリ内の図鑑の画像と自身が撮影した画像とを見比べながら、自分で病虫害や雑草を特定する診断方法です。AI 診断がうまくいかなかった際などにご使用ください。



AI診断をした後にカルテ式診断をすることもできます



AI診断の結果に満足できなかった場合はカルテ式診断を使って自身で異常を特定することができます。

上手な診断の方法

診断までのステップを確認し、病虫害雑草の撮影方法、画像の加工方法を工夫することで診断精度は大きく向上します。

診断作物や診断対象の選択が間違っていないかをチェックする



診断する作物の選択

診断をする対象の選択

診断をする作物や対象が間違っていないかを確認。なお2回目以降の診断では下部に作物や対象を選択し直すボタンが表示されます。

ピント優先で撮影する(ピンボケは NG)

小さな害虫・病斑・雑草を撮影する際でもピントを合わせることを優先してください。撮影対象が小さくても診断時の画像加工のピンチアウトの操作で拡大することができます。ピンボケ画像だと診断がうまくできません。



小さな虫であっても
“ピント優先”で撮影

診断時、画像を加工する際にピンチアウト（2つの指を拡げる操作）で診断対象を拡大し中央に配置する

注意!!

小さな虫等の撮影時にスマホのカメラを近づけ過ぎるとピンボケが発生しやすくなります。



AI 診断に適するように撮影した画像を加工する

AI 診断の際には何を診断するのが分かりやすいように、診断対象物を大きく中心になるようにピンチアウト操作で画像を調整してください。この操作をするだけで診断の確度が大きく向上します。



AI 診断が難しい写真の例



AI診断が難しい写真



診断対象を採取して手や地面の上に載せた写真
⇒なるべく自然な状態で撮影



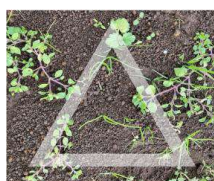
診断対象にピントが合っていない写真
⇒小さな虫でもピント優先で撮影



診断対象が遠い写真
⇒写真選択時に特徴部位をズーム



照り返しなどで診断対象がうまく映っていない写真
⇒自分の体等で影を作って撮影



複数種類の診断対象が一緒に写っている写真
⇒写真選択時に対象が1つになるようズーム



「これだと思う」ボタンの活用

AI 診断・カルテ式診断をした時に、診断結果に間違いが無さそうなら「これだと思う」ボタンをタップしてください。そうすることで診断履歴の中では「確定診断」として扱われます（ボタンをタップしていない診断は「未確定診断」になります）。診断履歴では「確定診断」のみを表示させる絞り込みができるので、過去の診断結果のチェックがしやすくなります。※診断履歴の詳細な使い方は 19 ページをご確認ください。

Point!

これだと思う

診断結果が“これで間違いない！”というときは「これだと思う」ボタンをタップ



農薬紹介

診断結果の下にある赤色の「この対象物を防除する」ボタンをタップすることで防除に使用できる農薬を確認することができます。さらに農薬名をタップすることで農薬の概要ページに移動し、「詳しく見る」のタップで農薬メーカーのサイトで登録内容等の詳細な情報の確認もできます。

※診断結果と農薬の紐付けは場合によっては登録内容に沿わない場合があります。例えば一部のウイルス病に対しては、その病気を媒介する害虫を防除するための殺虫剤を表示することがあります。



「農薬の絞り込み」「農薬のお気に入り登録」

紹介された農薬はメーカー別や単剤・混合剤で絞り込みをすることができます。また農薬概要の画面で気になった農薬はお気に入り登録をすることができます。そうすることで「図鑑機能」(27 ページ)で簡単にいつでも確認することができます。

農薬の絞り込み



農薬一覧の画面の上部のボタンで、「メーカー別」「単剤・混合剤」で薬剤を絞り込むことができます

農薬のお気に入り登録



農薬概要の「お気に入りに入れる」をタップ



Point

“お気に入りに入れる”をタップした薬剤は図鑑機能から簡単に確認することができます



4 診断履歴

トップ画面の「診断履歴」のボタンから、これまでの診断結果を全て確認することができます。今後の防除計画を検討するのに、過去の診断結果を活用してみてください。



一覧表示とマップ表示

診断履歴の画面は「一覧表示」と「マップ表示」のタブをタップすることで表示方法の変更ができます。最近撮影したものを確認したいときには「一覧表示」、圃場のどの場所で撮影したのかを確認したいときには「マップ表示」がおすすめです。

診断結果をタップすると、病虫害や雑草の生態情報の画面になります。生態情報を確認した上で結果が違うと感じた際には再診断をすることができます。またその診断結果に効果的な薬剤を確認することもできます。



一覧表示

これまで診断した結果が一覧で撮影日順にソートされて表示されます。画像右上の  マークは診断時に「これだと思う」ボタンをタップした“確定診断”の印です。

これだと思う



マップ表示

撮影をした場所をサムネイルと一緒にマップ上で表示されます。“航空写真”のモードにすると撮影地点が圃場のどの場所なのか分かりやすいのでお勧めです。※画面は開発中



この診断の撮影場所と診断場所がマップ表示されます

撮影場所

診断場所

診断結果が“違う”と感じた際はこのボタンで再診断をすることができます

「この対象物を防除する」で効果的な薬剤を確認することができます

気になる診断履歴をタップすると診断をした病虫害や雑草の生態情報を確認できます

【診断結果がマップに表示されない！】

位置情報の使用が本アプリとカメラに許可されていない場合はマップ表示されません。8 ページの「本アプリとカメラアプリの位置情報をオンにする」の項目を確認して設定をしてください。なおこの設定前に撮影した画像は後からこの設定をしてもマップには表示されないままなのでご注意ください。

診断履歴の削除

診断履歴を削除する方法は①左スワイプと②削除ボタンの 2 種類があります。写真を確認しながら1つずつ削除する場合は①左スワイプ、複数を選択して一気に削除したい場合は②削除ボタンからの削除を使用してください。



削除の方法①：左スワイプ



削除の方法②：削除ボタン

“絞り込み”の活用

診断履歴は「絞り込み」から簡単に絞り込むことが可能です。防除計画を検討する際の診断データ確認等でご活用ください。



右上の「絞り込み」をタップ



様々な項目で診断結果を絞り込みすることができます

Point! 様々な絞り込みを試してみましょう！

作物で絞り込み

診断タイプで絞り込み

撮影日付で絞り込み

確定診断で絞り込み

診断時に「これだと思う」ボタンをタップした診断は確定診断として扱われます。それ以外は未確定診断になります。

これだと思う

“去年の今頃”ボタンを使ってみよう！

左上の「去年の今頃」ボタンをタップするだけで昨年同時期の診断内容に絞り込まれます。「昨年の同時期にはどのような病害虫や雑草が出ていたかな？」と気になった際にはご活用ください。



5 記録機能

写真にタグをつけて農業に関する様々な内容を記録する機能です。タグは病虫害、生育調査、作業情報など5,000以上を用意しています。(写真がなくても記録することは可能です。)

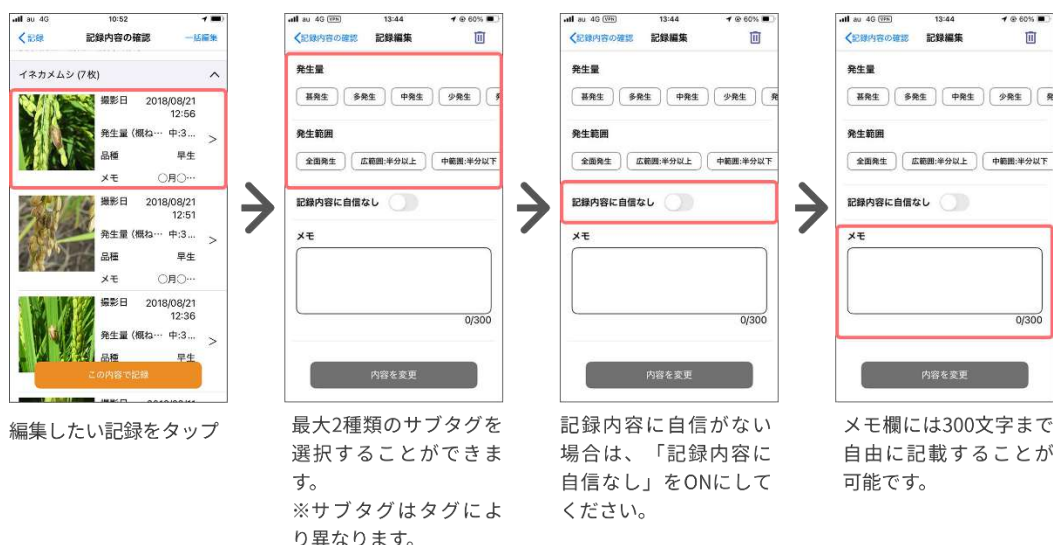
記録

イネカメムシの発生調査を例とした操作フローです。トップの”記録する”ボタンをタップし、利用シーン、分類、タグを順に選択してください。写真をその場で撮影する場合は”カメラ”、既に撮影済の写真を選択する場合は”ギャラリー”を選択します。写真をつけない場合はどちらも選択する必要はありません。”確認画面へ”をタップし、記録内容を確認した後、”この内容で記録”をタップして記録が完了します。



サブタグ、「記録内容に自信なし」ボタン、メモの活用

記録の確認画面で編集したい記録をタップすると、その記録内容の詳細情報を編集することができます。



6 記録履歴

トップ画面の「記録履歴」のボタンから、これまでの記録データを全て確認することができます。今後の防除計画を検討するのに、過去の記録を活用してみてください。操作方法は 4 診断履歴と同様です。

一覧表示とマップ表示

記録履歴の画面は「一覧表示」と「マップ表示」のタブをタップすることで表示方法の変更ができます。最近記録したものを確認したいときには「一覧表示」、圃場のどの場所で記録したのかを確認したいときには「マップ表示」がおすすめです。

記録データをタップすると記録詳細を確認することができ、記録情報に誤りがあった場合には「内容を編集」をタップすることで修正することができます。ただし、位置情報を修正することはできません。

7 AI 予察

AI 診断やカルテ式診断の「診断機能」は、圃場に発生している病虫害や雑草を特定するための機能ですが、「AI 予察」は気象情報、公的機関の予察情報、アプリデータを使って、これから気をつけるべき病虫害・雑草や気象に関するアラート情報を自動的に配信する機能になります。

本機能は地域や作物を設定するだけで“予察タブ”と“気象タブ”に分かれて情報が配信されます。簡単に多くの情報を得ることができる便利な機能です。

なお本機能は近隣の診断データ等のユーザー情報を使用して情報を配信しますが、具体的な診断場所や診断者の情報が他者に知られるわけではありません。安心してご使用ください。



Point

予察タブと気象タブに分かれて情報が配信されます。タブを切り替えながらどのようなことに気をつけたら良いのか確認してみましょう！

トップ画面のヘッドライン
か下部の予察アイコンを
タップ

初期設定

“予察タブ”と“気象タブ”のそれぞれでエリアや作物の設定をします。どちらもすぐに設定ができ、また変更するのも簡単です。以降のマニュアルに沿って設定をしてください。

予察タブのエリアと作物を設定

エリア（都道府県）と作物を設定します。この設定をすることで自身に最適化された予察情報が配信されます。



気象タブのエリアを設定

市区町村レベルのエリアを設定することで使用することができます。なおエリアは最大で 5 つまで登録することができます。複数の市区町村にまたがって圃場を管理されている方は、登録したエリアを切り替えながら気象情報をご確認ください。



気象タブの“エリアを変更する”をタップ



エリアの“変更”をタップ。気象エリアは最大で5つ設定できます。



情報を受け取りたいエリアを選択します。付近の自治体を選ぶか、そこに無ければ地域から探します。



地域を選んだら次は都道府県を選択



市町村を選択



新しくエリアを設定することができました。エリアを切り替えると、そのエリアに最適化された情報が配信されます。

予察情報

都道府県の公的予察、近隣の診断数、図鑑検索数、ユーザー投票の結果などの複数の条件を AI が解析して注意すべき病虫害の情報を配信します。配信された病虫害は図鑑の情報を確認した上で防除に適する農薬まで見ることが可能です。





ここをタップすると生態図鑑を見ることができます。生態図鑑から防除に使用できる農薬の確認もできます。

ユーザー用のアンケートです。この情報の活用でさらに精度の高い予察情報になります。是非とも協力ください。

近くで発生していますか？ ☐ いいえ ☒ はい

対処しましたか？ ☒ いいえ ☐ はい

予察カードに関連する配信要因や防除のポイントなどの情報を確認できます。

Point

予察情報は都道府県の公的予察、近隣の診断数、図鑑検索数、ユーザー投票などの様々な情報をAIが解析して配信されます。

△ 注意報・7月30日 ☑
令和4年度 病虫害発生予察注意報 第1号

- ↗ 付近で診断数増加
- ↗ 前年同時期に付近で診断数増加
- ↗ 図鑑検索数増加
- ↗ ユーザー投票 発生: あり なし
- ↗ ユーザー投票「対処した」増加

気象情報

ただの天気予報とは異なり、気象情報を解析した農業に関する情報を配信します。農薬の散布適否や気象条件による病虫害の発生リスクなどを確認できます。





ユーザー用のアンケートです。情報の精度を確認して改善をいたします。是非ともご協力をお願いします。

この情報は役に立ちましたか？ ☐ いいえ ☒ はい

気象条件による各種リスクを配信します。どのようなリスクなのかそれに対してどうすれば良いのかの情報をご確認ください。

Point

気象情報は風雨の予報による農薬の散布適否、雨量、気象条件による病虫害の発生リスクなど様々な情報を配信いたします。また複数のエリアを設定することで簡単に場所を切り替えることができます。市町村をまたいで圃場を管理している方は場所を切り替えながら情報を確認してみてください。

ユーザーアンケートに答えよう

予察や気象のカードには簡単なアンケートが付いています。ユーザーの皆様のアンケート結果を解析することでさらに予察情報の精度を向上させることができます。是非ともご協力をお願いします。なお個人情報は取得していませんのでご安心ください。

予察アンケート

近くで発生していますか? ☐ いいえ ☒ はい
対処しましたか? ☒ いいえ ☐ はい

気象アンケート

この情報は役に立ちましたか? ☐ いいえ ☒ はい

8 図鑑

農薬や病害虫雑草を検索して詳細な情報を確認することができます。絞り込み機能を上手に使用して気になる農薬や病害虫雑草を検索して調べてみましょう。



農薬を探す

本アプリに登録されている農薬情報を検索することができます。



“農薬を探す”をタップ



絞り込みの条件を指定

農薬を使用する作物を選択します。

“殺虫剤” “殺菌剤” “除草剤”を選択します。複数を選ぶこともできます。

お気に入りに入れた農薬のみに絞ることができます。

農薬情報に含まれている語句を部分一致で検索できます。



絞り込みの条件を指定したら“条件決定”ボタンをタップ



条件に合う薬剤が一覧で表示されます。ここで気になった農薬をタップ



薬剤の特徴を確認できます。さらに「詳しく見る」をタップ



農薬メーカーのサイトに行きます。登録内容等を詳しく知ることができます

「効果一覧」の確認 ～農薬の防除対象の一覧と生態情報～

農薬図鑑の農薬概要の画面を下にスクロールすると、その農薬の効果がある作物と防除対象の一覧を見ることができます。さらに防除対象をタップすると、その対象の生態情報の確認ができます。



農薬概要の画面で下にスクロール



農薬が対象としている作物や防除対象の一覧が表示されます



防除対象をタップすると生態情報を確認することができます

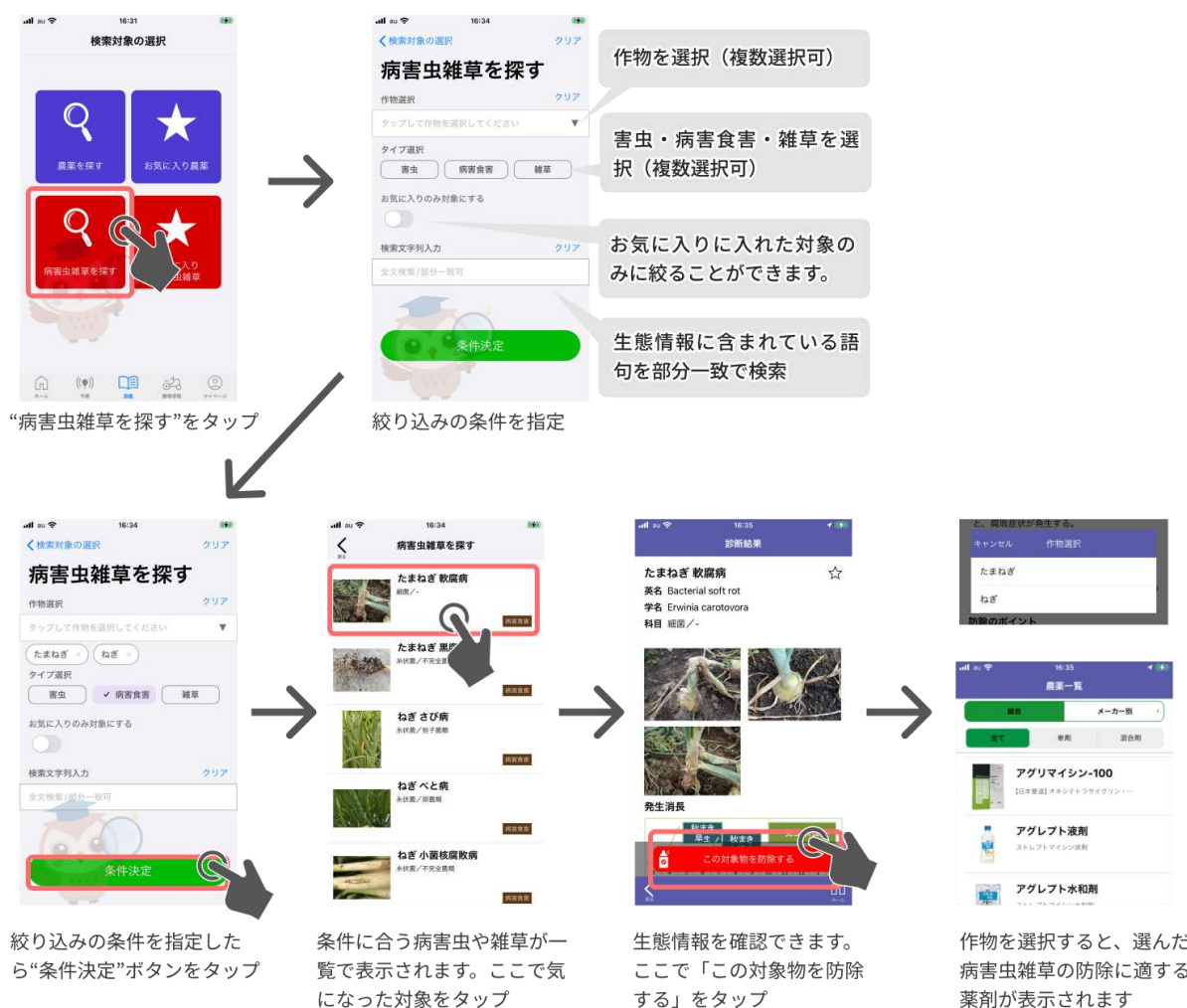
「お気に入り農薬」とは？

診断時や図鑑閲覧時の農薬概要の画面で「お気に入りに入れる」を選択すると、その農薬は図鑑の「お気に入り農薬」に保存されます。



病虫害雑草を探す

病虫害雑草の生態情報を知るためにアプリ内の図鑑を検索することができます。また検索した病虫害雑草に対して効果的な農薬を確認することも可能です。新しく栽培する作物の病虫害の勉強や、圃場で異変を見つけた際のポケット図鑑としてご使用ください。



「お気に入り病虫害雑草」とは？

診断や図鑑で病虫害や雑草の生態情報を見た際に星マークをタップすると“お気に入り”になり、図鑑からすぐにアクセスできるようになります。効果的な農薬の情報も閲覧することができるので、多発するような病虫害雑草は“お気に入り”に登録することで、ローテーション防除の農薬の検討に活用できます。



診断や図鑑の生態情報の画面の星マークをタップして黄色にする

“お気に入り病虫害雑草”をタップ

“お気に入り”に入れた対象をすぐに確認できます

9 圃場管理

圃場を登録して、圃場毎の病虫害雑草の診断結果のデータを見たり、圃場別のカレンダーにメモを記録したりすることができます。トップ画面の下部メニューの「圃場管理」をタップしてください。



圃場を登録

まずは圃場を登録してみましょう。右下の+のマークをタップして、必要情報を入力し、圃場の場所を設定します。



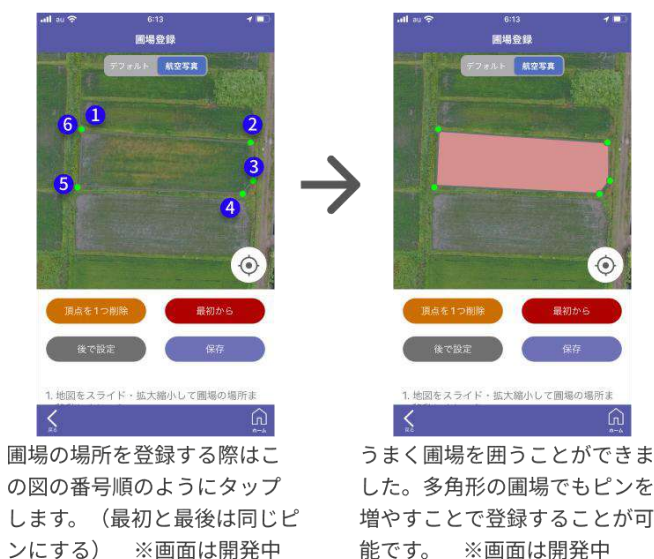
圃場登録のポイント

圃場の基本情報は圃場の特定がしやすいようになるべく分かりやすくするのがポイントです。圃場の場所を登録する際は最初と最後のピンは同じにすることで圃場を囲うことができます。

圃場の基本情報の作成



圃場の場所の登録のポイント



登録圃場を見る

登録した圃場の画面には「基本情報」「診断履歴」「データ管理」の3つのタブがあります。



圃場登録の際の情報を見たり編集することができます。



圃場別の病害虫雑草診断の結果の履歴を確認できます。



日報や診断データの解析情報を見ることができます。

圃場別の「診断履歴」

圃場を選択してから病害虫雑草の診断をすると、その圃場に紐ついた診断結果として扱われます。診断をした後に圃場に紐つけることはできません。また自動的に圃場に診断が紐つくわけではないので注意してください。



圃場登録をしていると病害虫や画像を診断する際に、その診断結果を紐付ける圃場を選択することができます

※具体的な診断の方法は「3 診断と農薬紹介」のページをご確認ください

注意!!

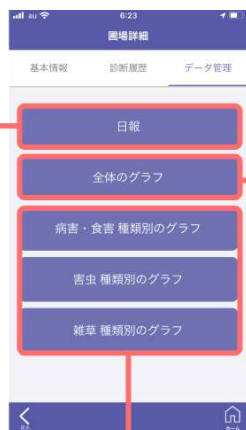
診断をした後に、診断結果を圃場へ紐付けすることはできません。
圃場の選択を忘れて診断をした場合は、再度圃場を選んでから再診断してください。
また診断結果を別の圃場に付け替えることもできません。ご注意ください。

圃場別の「データ管理」

「データ管理」では日報の記録と、診断結果の解析グラフの確認ができます。過去の診断内容と比較しながら防除計画の立案にお役立てください。



カレンダーにメモを記録することができます。入力のある日は黄色の枠が付きます



この圃場に紐づく全ての診断の集計になります。「比較モードを利用する」で右側の画面のように過去との比較ができます



診断方法による絞り込みができます



診断タイプ（病害・食害、害虫、雑草）別の解析データです



診断結果別に診断数を棒グラフで確認することができます。「全体のグラフ」と同様に比較モードで先月比較、前年同時期との比較ができます。

10 天気予報

現在地の天候を自動的に表示します。天候だけではなく水稻のいもち病の発生リスクの情報も確認できます。

いもち病発生予測
● 異常なし
いもち病が発生する可能性が見受けられませんでした。

水稻のいもち病の発生リスクの確認もできます。

11 お知らせ

病害虫雑草の防除や農業全般に関する情報を配信しているので情報収集にご活用ください。またプレゼントが当たるお得なキャンペーン等の通知をすることもあるので定期的にご確認ください。

お知らせ

未読があればこのように表示されます

12 Z-GIS との連携

「Z-GIS」は JA 全農が提供する営農管理システムです。高精細な地図上にマウス操作で簡単に圃場ポリゴンが作成でき、そこにユーザーが登録したい情報をエクセル形式で入力し紐づけることで、圃場の位置と営農情報を効率的かつ自由度高く管理できるようになります。スマート農業の第一歩として 2018 年からサービスを開始し、「Z-GIS」を「スマート農業のプラットフォーム」として展開されています。

2025 年 5 月 7 日日本アプリと Z-GIS の連携が正式にスタートしております。本マニュアルでは本アプリの操作方をメインで記載しています。Z-GIS の操作は Z-GIS のマニュアルをご確認ください。

Z-GIS とレイミーの連携は「Z-GIS の有償のオプション」です（レイミーの有償オプションではありません）。Z-GIS と連携をしてもレイミーに関しては無料のままサービス提供いたします。

連携の概要

本連携は複数人のレイミーユーザーの診断結果や記録内容を集約して Z-GIS で確認できるという仕組みになっています。この連携を行うことで、圃場レベル、地域レベルの病虫害雑草の発生動向の把握や圃場の異変の把握が可能になります。



連携の方法

本連携を行うには Z-GIS のアカウントが最低 1 つは必要になります。また Z-GIS のオプションになるので事前に利用のお申し込みをしてください。Z-GIS のサイト:[レイミー連携 | 営農管理システムZ-GIS](#)

1. 【レイミーユーザー】ユーザー登録をして、それに使用したメールアドレスを Z-GIS ユーザーに伝える。（ユーザー登録の方法は 9 ページをご確認ください）。※パスワードは伝えないでください。

2. 【Z-GIS ユーザー】レイミーのユーザー登録に使用されたメールアドレスを、Z-GIS のレイミー連携機能に登録して認証のメールを送信する(Z-GIS の送信ボタンにより複数人のレイミーユーザーに対して一括でメール送信されます) ※具体的な操作方法是 Z-GIS のマニュアルをご確認ください。
3. 【レイミーユーザー】ユーザー登録したメールに Z-GIS からの認証メールが届くので、そのメールの中のリンクを開いて、レイミーのユーザー登録に使用したパスワードを入力して認証を得る。

この設定をすることで Z-GIS のユーザーは、本アプリの診断データを取得して Z-GIS のマップで診断結果を見ることが可能になります。なおレイミーユーザーは通常通りの診断をするだけで自動的に診断データが共有されます。

なおレイミーユーザーは複数の Z-GIS のアカウントとデータを共有することができます。(例えば農業法人組織の Z-GIS アカウントと JA の Z-GIS アカウントの両方に対して連携するという使い方ができます)

連携の確認と切断

連携が成功するとマイページの中に「システム連携」の項目が出て、その中に“Z-GIS”が表示されます。なお連携をやめる場合は、“Z-GIS”をタップしたら出てくる“連携先”ウインドウの中の赤色の切断ボタンをタップしてください。(再連携をする際は、Z-GIS ユーザーから再度連携リクエストを送ってもらう必要があります)



連携を切断する際は“切断”ボタンをタップしてください。

連携が成功すると、マイページにシステム連携の項目が出ます。

本連携のお申込み

本連携は Z-GIS の追加オプションになります。ご利用をご希望の方は Z-GIS のサイトからお問い合わせください。なお連携を受けるレイミーユーザーはお申込み不要です。

【お問い合わせ先】

Z-GIS のサイトからお問い合わせをしてください

[レイミー連携 | 営農管理システムZ-GIS](#)